

里山倶楽部自然農場日記 5月号 NO76

3月から4月は野菜の種類がとても少ない時期です。冬野菜が終わり、夏野菜が出てくるまで全くの空白の時期にあたります。この時期を端境期と言います。端境期は秋にもう1回あります。夏野菜が終わって、冬野菜が出るまでの間です。でも春の端境期に比べると秋の端境期は、里芋や、さつまいも等の芋類がありますので、大分様子が違います。

今年の春の端境期は特に苦労しています。そしてお客様にも大変ご迷惑をおかけしております。普通この時期は、小松菜、ほうれん草、しろな等、葉物野菜が中心になるのですが、今年は何回種をまいてもうまくいかず、失敗の連続です。原因は二日に一回雨が降る「天候不順」です。先ほどのニュースでは、大阪では4月に入って4月20日までに晴れた日があった二日しかなかったそうです。何べんも言ってますが、自然農場の畑はもともと田んぼだったところを畑にしています。粘土質で水はけが非常に悪いところに雨が多いため、野菜の根が腐り成長しないのです。

これは全国的な問題のようで、今日大阪の自然食品店に野菜の配達に行ったら店長曰く、世間ではキャベツが滅茶苦茶高いと言っていました。原因は雨が多くて玉が腐ってしまっているとのこと。

この数年、天候不順、天候不順と毎日のように言われています。「天候不順」があたり前と考えるおかげにならないようです。ある先輩の農家の方が、今こんなに雨が多いと田植えの時には逆に雨が降らないのではないかとおっしゃっていました。どうしてこんな地球になってしまったんでしょう。

お客様の声

先週は金沢への配達ありがとうございました。妹家族のところへ遊びに行っていて、是非里山の野菜を食べてもらいたいと思って変更をお願いしました。妹は「こんなに美味しい里芋は食べたことない。一箱でも送ってもらいたいくらいだ。友達に配ってまわりたい」といたく感動していました。なかなか食べない甥も、人参スティックを何も言わずむしゃむしゃやっていました。妹家族に里山の野菜を喜んでもらえて、姉として嬉しいです。

(Eさま)

いつもお世話になります。

野菜が届くと、段ボールを開封するのが毎回楽しみで、一つ一つ丁寧にくるまれた新聞紙を開け、野菜が顔を出した時はとても愛らしく思います。自然農法は私のような素人ではとても想像がつかないほどの大変なご苦労があるでしょうに、こうして大切に大切に育てて下

さった生産者の皆様に、そして大地の恵みに感謝をしながらおいしく頂いております。さて前回のお知らせでよもぎを希望する方は連絡下さいと記入されていたので、ぜひ頂きたいと思いメールをさせて頂きました。よもぎ団子によもぎ豆腐、よもぎの薬草風呂などいろいろ楽しみたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

(Uさま)

たまちゃんのつぶやき

このところ本当に雨続きです。おまけに急に寒くなったりして、びっくりします。それでも空豆や絹さやは花を咲かせています。それにカエルも鳴き出しました。でも何となくミツバチは少ないような…。小松菜や菜花のトウがたって、すっかりお花畑になっているのに、そんなにブンブンと飛んでいないのが少し気がかりです。 (4月9日)